

研究課題名：

「内境界膜剥離併用硝子体手術の網膜厚への影響」
に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日から2015年1月1日までに硝子体手術を受けた方

2. 研究目的・方法

近年、黄斑前膜に対する硝子体手術において内境界膜剥離が行われているが、術後に耳側の網膜厚が薄くなるという事象が指摘されている。そこで本研究では内境界膜剥離手術前後の網膜厚の推移と視機能への影響を過去の臨床データから検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテより、2006年1月1日から2015年1月1日までに硝子体手術を受けた患者(各疾患約100例)の術後1年以内の性別、年齢、視力、視野、屈折、角膜曲率半径、角膜厚、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、眼底写真、蛍光眼底造影、補償光学眼底撮影、細隙灯顕微鏡検査、電気生理学検査、レーザーフレアセル、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴、身長、体重、使用薬剤、採血検査・尿検査・心電図、手術記録のデータを取り出して表にまとめ、術前後の網膜厚の変化と視機能への影響を内境界膜剥離の有無に絡めて検証する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院

TEL052-741-2111（代表）

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子 裕規